

令和6年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	37	学 校 名	静岡西高等学校	校 長 名	松場 勉
------	----	-------	---------	-------	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	自己肯定感の涵養	・「自分は価値ある人間である」と答える生徒 70%以上 ・「西高 Spirit を意識して学校生活を送っている」と答える生徒 70%以上 ・「西高の先生は、よく褒め励ましてくれる」と答える生徒 65%以上 ・「学校生活が充実している」と答える生徒 80%以上	・ 81.1% ・ 81.5% ・ 65.9% ・ 83.1%	A	教務課 行事や部活動に主体的に取り組む生徒が多い。教員からの声掛け（褒める、認める）を増やすことで自己肯定感の涵養につなげていきたい。 生徒課 以前に比べると、先生方は生徒を褒めているが、生徒の自己肯定感は、一部まだ低い印象がある。 笑顔で過ごす生徒は増えたと感じるが、生徒同士の人間関係には課題を残す。 進路課 進路・職業に対する理解を深め、自分の生き方について考えさせる機会を多く設けたことで、前向きに学校生活を送る生徒が増えた。
イ	基本的生活習慣の確立	・「規律ある学校生活を送っている」と答える生徒、保護者 90%以上 ・「あいさつができている」と答える生徒、保護者 90%以上 ・ 欠席者数 のべ 在籍人数×3回以内 (750) ・ 遅刻者数 のべ 在籍人数×4回以内 (1000)	(生)94.4% (保)97.8% (生)95.2% (保)97.1% - 欠席 999 - 遅刻 277	A	生徒課 服装・あいさつ等、できる生徒が増加した。 規律・あいさつは、他校の先生方や保護者、中学生の保護者からも評価をいただいている。 教務課 朝の継続した指導で、欠席、遅刻数の減少につながった。中学校で長欠傾向にあった生徒の改善も見られている。
ウ	社会的規範意識の育成	・「相手を思いやる発言や行動をしている」と答える生徒 80%以上 ・「校則や交通ルールなど社会のきまりを守っている」と答える生徒 90%以上	・ 94.4% ・ 97.2%	A	生徒課 規律を守ろうとする意識は、ここ数年と比較にならないほど高いと感じている。交通マナーについて、御指摘

様式第3号

		・重大な交通事故ゼロ	・重大交通事故ゼロ		をいただくこともあるが、交通指導を適時行うことができています。
エ	基礎学力の定着	・学びの基礎診断において、学力の向上が見られた生徒 60%以上 ・「西高で学力を伸ばすことができる」と答える生徒、保護者 70%以上 ・「勉強を頑張っている」と答える生徒 60%以上 ・家庭学習時間 週7時間以上取り組んでいる生徒 50%以上	1年 50.5% 2年 35.1% (生)79.9% (保)86.7% ・81.1% ・30.1%	B	教務課 生徒、保護者の実感と学力の現状とに差がある。 観点別評価の工夫、授業改善等、継続的に取り組むことで、学力の定着につなげていきたい。
オ	課題解決に向け主体的に取り組む資質・能力の育成	・月例の職員研修(10分研修)の実施 ・みらプロの授業に自ら取り組む生徒 70%以上 ・言語活動の充実、主体的・対話的で深い学びを実践している教員 80%以上 ・「学校行事に積極的に取り組んでいる」と答える生徒、保護者 90%以上 ・「部活動に意欲的に取り組んでいる」と答える生徒、保護者 80%以上	毎回の職員会議後に実施 (生)87.6% (教)96.6% (生)93.6% (保)96.4% (生)81.5% (保)87.0%	A	教務課 短時間であるが効果的に研修を行うことができた。ICT機器の活用により、生徒-教員間の双方向のやりとりの充実が図られた。 進路課 みらプロ担当の精力的な指導もあり、「生き方指導」としての進路指導計画が整えられた。それにより地域と連携した探究的な学びが増え、生徒の意欲的な探究活動が見られた。 みらい探究コース 10分研修は実施できたものの、内容が充分ではなかった会もあった。 生徒の取組状況は十分であるものの、工夫を加えればもっと主体的に取り組むことができる。 スポーツコース 行事、部活動に意欲的に取り組んでいる。みらい探究コースの生徒にも良い影響を与えている。
カ	社会の役に立とうとする心の醸成	・「自分の将来の生き方について具体的に考えている」と答える生徒 80%以上 ・「学校は社会の役に立とうとする姿勢を育てている」と答える生徒 80%以上	(生)70.3% (生)90.0%	B	教務課 周りを見て、率先して行動する生徒が増えた。行事では人数の少ない中で、一人何役もこなす生徒が多数おり、意欲的に活動に貢献する姿が見られた。 生徒課 欠席数や成績、

様式第3号

		・「進路選択に関する情報が適切に提供されている」と答える生徒、保護者 80%以上 ・「何らかのボランティア活動に参加した」生徒 50%以上	(生)90.0% (保)84.4% (生)48.2%		学校生活が直に将来に繋がることを伝えていきたい。計画性に乏しい生徒が一部いる。ボランティア活動への参加者数を増加させたい。 進路課 Classi や掲示物を活用した進路情報の提供に努めたが、今後は生徒の「生きる力」を育む指導の充実を図りたい。 みらい探究コース 進路とみらいプロジェクトを絡めることへの意識づけには課題を残す。 スポーツコース 大学等との連携が定着し、進路を真剣に考える姿勢が身についてきた。
キ	心身の健康の保持増進と安心し信頼される学校づくり	・生徒に対する言葉づかい、呼称、授業のUD化に配慮している教員 100% ・「信頼できる先生がいる」と答える生徒 80%以上 ・「安心して学校生活を送ることができる」と答える生徒 85%以上 ・朝食摂取率 90%以上	(教)93.1% (生)83.1% (生)86.7% (生)87.9%	A	生徒課 信頼できる先生がいる生徒の 80%越えは素晴らしい。 頼もしい教員が多く、生徒が安心して生活を送ることができている。 学校生活アンケートに、気兼ねなく気持ちを書いてくる生徒が多い。 安心・安全な学校に着実に近づいている。 教務課 授業改善、授業の中での生徒とのやりとりが信頼関係の深まりへとつながっていると感じている。
ク	教職員の資質・能力の向上	・ICT 機器を活用した授業実践を試みる教員 100% ・「西高の授業はよくわかり、満足している」と答える生徒、保護者 70%以上	(教)82.8% (生)79.5% (保)86.0%	A	教務課 多様な学力層の生徒が混在する中で、ICT 機器を活用しながら個に応じた指導を行っている。学力の定着が今後の課題である。
ケ	情報発信、広報活動の充実	・「家庭への連絡や情報提供が適切に行われている」と答える保護者 80%以上 ・HP の更新、X、Instagram への投稿を年間計 150 回以上 ・SNS の投稿に取り組んだ教員 50%以上	(保)86.1% ・119 回 (教)34.5%	B	総務課 連絡や回答を書面ではなく Classi やフォームで行う工夫をした。 教務課 広報委員会が中心となり、Nnavi をはじめ、各種広報活動を充

様式第 3 号

		・「一日体験入学、学校説明会に来て良かった」と答える参加者の割合 90%以上	・ 90.2%		実させることができた。 SNS の投稿については教員が積極的に関わる機会を増やしていきたい。 管理職 説明会等、魅力発信に学校全体で努めた。生徒による案内誘導、説明は特に高く評価された。
コ	教職員のワークライフバランスの推進	・時間外勤務の縮減または業務の効率化を図ることができた教職員 70%以上 ・夏季休暇取得率 100% ・定時退勤できた教職員 70%以上	・ 72.4% ・ 100% ・ 41.4%	B	管理職 限られた職員数の中、互いに協力・補完し合い職員皆で業務を遂行している。休めるときには休む、この姿勢を大事にしていきたい。
サ	安心・安全で信頼される学校づくりの推進	・教職員の事故発生件数 0 件 ・施設に関する事故発生件数 0 件 ・監査等の指示、指摘事項 0 件	公務災害 0 件 施設 0 件 指摘 0 件	A	管理職 安全に関する呼びかけは機会あるごとに続けることができた。 事務室 階段の照明や玄関オートロック錠の設置など、予防的視点から施設整備を行うことができた。